埋文桜ニュース

発行日：二〇一七年四月一日
発行者：公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター

はじめに

新たな年度を迎え、暖かな日ざしがなによりうれしい季節となりました。本年度も愛知県埋蔵文化財センターでは、様々な事業を計画しております。

まず発掘調査ですが、昨年度から続く設楽ダム建設事業に伴う発掘調査をはじめ、下図に示す遺跡で調査を予定しております。調査の成果や、現地説明会の開催情報は、私どものホームページなどで紹介してまいりますのでご覧下さい。

普及・公開事業も本年度は多数計画しております。

まず春には弥富市の愛知県埋蔵文化財調査センターで【春の埋蔵文化財展】を開催します。この展示は平成28年度の調査で見つかった遺物の速報展です。期間中は「やとみ春まつり」に合わせて「考古学縁日」も行います。

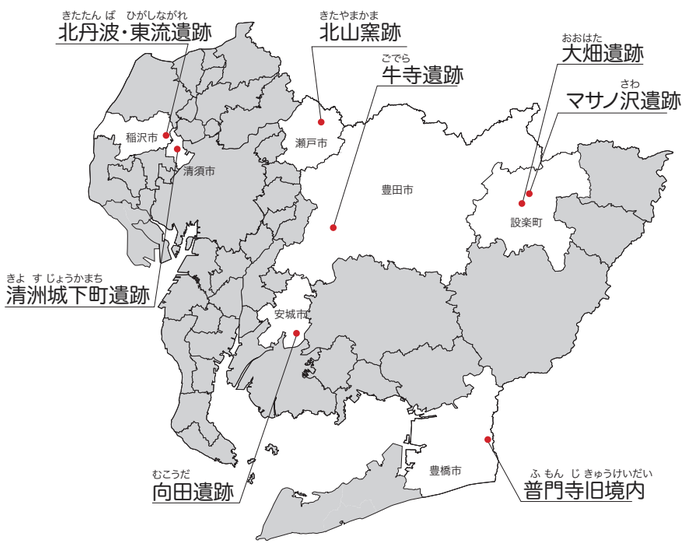
夏は特に計画はございませんが、遺跡の現地説明会がこの頃から開催されはじめる予定です。

秋は盛りだくさんな内容です。まず、弥富市の愛知県埋蔵文化財調査センターでは【秋の埋蔵文化財展】として展示内容をリニューアルします。また、当センターの業務を皆様にご理解いただくための【バックヤードツアーと考古学体験】や、設楽地区の遺跡発掘現場での【発掘体験】などの体験型イベントも開催します。好評をいただきました【連続歴史講座】も計画しております。本年度のテーマは「縄文・弥生時代の食と文化」です。さらに愛知県内を中心とした考古学に関連する人たちが集まり、最新情報を交換するイベント【考古学セミナー「あいちの考古学2017」】を名古屋市博物館で開催します。

冬には愛知県青年の家で、当センターが岡崎市内で過去に実施した遺跡の調査成果を報告するイベント【発掘された岡崎の遺跡】を開催します。

以上の様に、当センターでは本年度も積極的な情報発信に努めます。皆様のご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

平成29年度の調査予定遺跡



〒498-0017
愛知県弥富市前ケ須町野方 802-24
電話：0567-67-4163
ファックス：0567-67-3054
ホームページ：http://www.maibun.com/
メールアドレス：doki@maibun.com

連続歴史講座　今年は4回開催！
縄文・弥生時代の食と文化
縄文・弥生時代の食と文化について専門の講師が解説。

2017考古学の祭典
考古学セミナー
名古屋市博物館にて開催！
2017年12月 2日（土）3日（日）

平成29年度　発掘調査成果報告会
新設楽発見伝4
平成30年3月開催予定！

春の特別公開 2017　国指定重要文化財

朝日をのぞく
～穴の開いた土器・土製品～

▲鳥形土製品

▲紡錘車

▲手焙形土器（てあぶりがたどき）

▲下部に穴の開いた壺

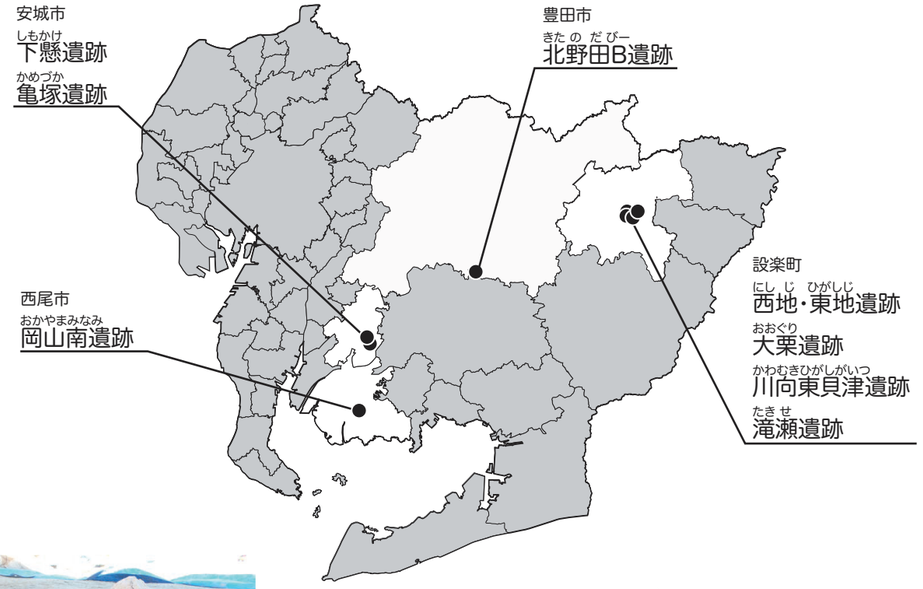
平成29年度　イベント案内

どなたでも楽しんでいただけるイベント　大人を対象としたイベント

4	1（土）－16（日）	どなたでも　春の埋蔵文化財展『やとみ新発見展”（しんはっけんでん）！2017』 & 春の特別公開　予約不要・参加費無料 ☆昨年度の発掘調査成果について、県内で一番早く展示解説を行います。また、国指定の重要文化財である朝日遺跡の遺物を特別公開します！ 4月1日（土）・2日（日）はキネクトゲームやツボ釣り、火起しマスター、輪投げのイベント開催！
5		どなたでも　秋の埋蔵文化財展 & 秋の特別公開　予約不要・参加費無料 ☆2階の資料管理閲覧室の展示を、大規模に更新いたします。また年に2回公開される朝日遺跡の国指定重要文化財を特別公開展示します。 ○開催時期：10月7日（火）から11月4日(土)　○開館時間：9:00-16:00　○休館日：日曜日
6		
7		
8		どなたでも　埋蔵文化財展関連事業1『展示解説とワークショップ』 ☆リニューアルした展示を調査員が概説いたします。また、じっくりと腰を据えた考古学的なワークショップを行います。 ○開催予定日：10月7日（土）、10月9日（月・祝）、11月3日（金・祝）
9		
10	7（土） 9(月祝) 13（金） 14（土） 21（土） 27（金） 28（土） 29（日）	どなたでも　埋蔵文化財関連事業2『バックヤードツアーと考古学体験』 ☆バックヤードツアーや考古学の体験イベントを通じて、当センターの事業を紹介します。 ○開催予定日：10月13日（金）、10月27日（金） 大人向き　連続歴史講座『縄文・弥生時代の食と文化』全4回 ☆設楽地域などの最新の発掘調査成果を踏まえ、縄文・弥生時代の食に関するの考古学的な情報について、専門の講師が解説。 会場：埋蔵文化財調査センター　2階研修室　時間：午後1時～3時 ①10月14日（土）：「どんぐり食体験1」　川添和暁　②10月 21日（土）：「どんぐり食体験2」　川添和暁 ③10月28日（土）：「弥生時代の狩猟・漁撈と動物食」 宮腰健司　④11月 4日（土）：「弥生時代の稲作と農具」 樋上 昇
11	3(金祝) 4（土）	どなたでも　愛知県旭高原少年自然の家　＊＊愛知県旭高原少年自然の家は、愛知県教育スポーツ振興財団の管理施設です。 旭高原少年自然の家主催事業『レッツ！発掘体験と温泉』要予約　受付開始予定8月下旬 ○開催時期:10月28日（土）･29日（日）　○発掘体験遺跡:東三河地域を予定 == 詳細は旭高原少年自然の家のHPをご覧ください。
12	2（土） 3（日）	大人向き　2017年度『考古学セミナーあいちの考古学2017』予約不要・参加費無料 愛知県内と近隣の情報を手に入れることができるビックイベント！　日時：12月2日（土）・3日（日） 会場：名古屋市博物館　地階講堂（発表）・展示説明室（ポスターセッション）　== 詳細が決定次第HPにておしらせします。
1		
2	17（土）	大人向き　講座「発掘された岡崎の遺跡」　予約不要・参加費無料 ☆旧石器時代の遺物が出土した西牧野遺跡など、岡崎市内の遺跡の発掘調査成果について報告します。 会場：愛知県青年の家（愛知県岡崎市美合町並松1-2）　開催日：平成30年2月17日（土）　時間：未定　== 詳細が決定次第HPにておしらせします。
3	上旬	大人向き　設楽ダム関連発掘調査成果報告会『新設楽発見伝4』　予約不要・参加費無料 ☆平成29年度の設楽地区の発掘調査成果の報告会です。　== 詳細が決定次第HPにておしらせします。

発行：公益財団法人　愛知県教育・スポーツ振興財団　愛知県埋蔵文化財センター

平成28年度の主な発掘調査成果



木製品の加工場？

岡山南遺跡（西尾市吉良町木田）

岡山南遺跡は、平成23・24・27年度に本調査や範囲確認調査が行われてきた遺跡です。

今年度は、8月から12月にかけて、三、九七〇平方メートルの範囲を発掘調査しました。その結果、古墳時代の土坑や溝、古代の溝や土坑、竪穴建物と推定される遺構などが確認できました。また、自然流路が確認され、その層から加工のある部材や鎌の柄、板材などの古墳時代の木製品が、自然の流木とともに見つかりました。

▲岡山南遺跡　流木出土状況

弥生時代の河道を確認！

亀塚遺跡（安城市東町秋葉下）

平成28年11月から平成29年2月にかけて発掘調査を実施しました。調査面積は一、三〇〇平方メートル。亀塚遺跡は、全国で初めて発見された人面文土器（弥生時代終末期）が出土した遺跡としてよく知られています。

今回の調査では、江戸時代以降の畑に関する遺構と、弥生時代の中期末までに埋没した河川やその頃の土器が確認されました。今回の調査により、亀塚遺跡に人が住み始める頃の地形を復元する基本情報を得ることができました。

▲細頸壺出土状況

木製品と土器たち

下懸・寄島遺跡（安城市小川町向田）

平成29年1月から2月にかけて発掘調査を実施しました。調査区は下懸遺跡と寄島遺跡にまたがる七二〇平方メートルのエリアでした。今回の調査では、二〇一一年度の寄島遺跡の調査で確認された河道の一部を確認することができました。また、北側の寄島遺跡からは建築部材などの大型木製品などが、南側の下懸遺跡では弥生時代の終わりから古墳時代前期の土器が大量に見つかりました。

▲下懸遺跡　土器出土状況

設楽町内の調査　縄文時代の集落の調査

昨年度は、滝瀬遺跡で縄文時代早期から後期中葉、大栗遺跡で縄文時代早期から中期、川向東貝津遺跡で後期旧石器から縄文時代草創期、西地・東地遺跡で縄文時代早期から後期初頭の遺構や遺物が、それぞれ確認されました。

▲主な調査地点

滝瀬遺跡

遺跡は境川の西側（右岸）の段丘上から山麓の斜面に立地しています。滝瀬遺跡は、平成27年度にも一、四七〇平米の発掘調査を行っています。昨年度は、およそ五、五〇〇平米の面積を調査しました。

発掘調査では、大量の土器や石器が見つかりました。中でも、今からおよそ一万年ほど前の縄文時代早期のトロトロ石器と呼ばれる石器が見つかったり、約四千年ほど前の縄文時代後期前葉から中葉の敷石建物跡などが確認されるなど、重要な情報がたくさん得られました。

▲トロトロ石器

大栗遺跡

遺跡は戸神川の東側（左岸）、川に対して南西斜面に立地しています。

昨年度の調査では縄文時代中期の竪穴建物一棟の他、早期の「煙道付炉穴（えんどうつきろあな）」、集石炉、陥（おと）し穴が確認されました。

▲大栗遺跡周辺（北西より）

川向東貝津遺跡

川向東貝津遺跡は豊川の支流、境川右岸の河岸段丘上に立地しています。一昨年度の調査の際に、縄文時代草創期の石器集中区が確認されました。そのため、昨年度その範囲の調査を行いました。

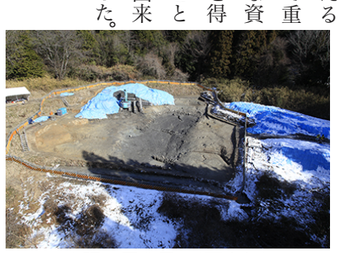
調査の結果、後期旧石器時代から縄文時代後・晩期までの石器が多数確認できました。なかでも、縄文時代草創期に属するが石器が最も多くありました。特に注目するべきものとして20点を超える尖頭器があげられます。

▲木葉形尖頭器（もくようがたせんとうき）

鎌倉時代　木製品加工の作業小屋か？

北野田B遺跡（豊田市蕪木町）

北野田B遺跡は、豊田市南東部を流れる郡界川の支流、蕪木川右岸の丘陵部に立地しています。昨年度の調査では、鎌倉時代の竪穴建物跡、石組遺構などを検出しました。竪穴建物跡からは曲物などの部材となる板状の木製品、桜の皮などが出土しており、木製品を加工する作業小屋であったと考えられます。下山地区での発掘調査でこのような遺構が確認されるのは初めてのことであり、当時の生業を考える上で重要な資料を得ることが出来ました。


▲調査区全景　（西より）